

unlimited ~無限大~

1年B組 学級通信 NO.115(最終号)

「素直」は人をどこまでも成長させる

私は、生徒みんなの将来に責任があります。また、生徒指導という立場があり、時には生徒に注意をしたり、叱ったりすることもあります。本当は私も他の先生方も注意したり、叱ったりするのは気持ちが良いことではありません。でも、みんなのことを思う気持ちがあるからこそ・・・生徒に少しでも良くなってもらいたい、という強い思いがあるからこそ、言いつらいことも言うのです。この思いは保護者も同じだと思います。

人間は誰でもミスをすることはあります。例えば、授業で日付や曜日を書き間違えることもあります。もしもあなたがミスをしたら、私は注意をします。

大切なことは、あなたがその注意やアドバイスを素直に聴きいれて直そうと努力できるかどうかです。「素直」に聴き入れることができる人は、どこまでも成長し続けると思います。

素直な人は、いろいろな人の言うことをきちんと聴いて、ちゃんと行動できます。つまり、良いことをドンドン吸収して、大きくグングンと成長していくことができます。

「心を開いて 物を見、心を開いて 人の話を聴く」

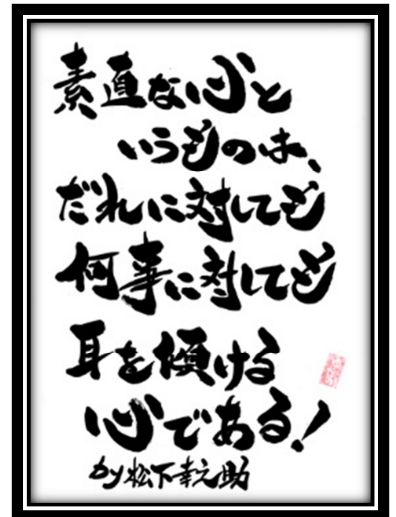
注意してほしいのは「聞く」ではなく、「聴く」です。「聴く」という漢字には「耳」だけではなく、「目」と「心」が入っていますよね。「目」は横になっていますが、その方が目の形に近いです。しっかり目を見て、心を開いて、耳だけじゃなく、目と心で聴いてほしいと思います。パナソニックの創立者の松下幸之助が残した言葉からも素直な心を大切にしていたことが分かります。

素直とは、時間を味方につけること

ある会社の社員が仕事で忙しく、毎日残業のときがありました。そんなときに、社長を空港まで車で迎えに行かなければいけませんでした。社長を車に乗せて運転しながらイライラしていたそうです。そんなときに社長が「人は時間を味方につけているときは、大丈夫だぞ」と言いました。

何かミスをしてしまったときとは、うまくいかなかったときに、「これは、自分に何を教えてくれているのかな。」と考えられるときは、素直になっているときです。つまり、時間が味方についているときです。

逆に、「こんなに仕事ばかりさせやがって・・・やってられないよ。」と思っているときは、時間は敵です。単にイライラしているだけで、まったく進歩がないどころか、逆に人のせいになりたりして、精神状態まで悪くなっていきます。そんな時間は無駄だということです。自分に何か足りないところがあったんじゃないかと反省したり、成長している時間なんだと思ったりすることが、有意義な時間になるのです。これが、「時間を味方につける」という意味だと思います。素直な心で学校生活を良いものにしていきましょう。



1年間ありがとうございました。